

創立 1980年10月8日



# ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

## 第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0024 堺市堺区向陵中町2丁5-10 杉本ビル5-B・Tel:(072)255-1200 番

例会日 毎週金曜日 午後0時30分

例会場 PANTARON Tel:(072)228-3988 番 (魚太郎直通電話)

URL : <http://www.sakai-kita.jp/>

E-mail : [snrc@jasmine.ocn.ne.jp](mailto:snrc@jasmine.ocn.ne.jp)

ガバナー(第2640地区) 辻 秀和(ツジ ヒデカズ)

ガバナー事務所 URL : <http://www.rid2640g.org/tsuji/>

E-mail : [tsuji2014-d2640@ivy.ocn.ne.jp](mailto:tsuji2014-d2640@ivy.ocn.ne.jp)

会長: 山ノ内修一 幹事: 塩見 守 広報委員長: 坂田兼則 編集者: 池田茂雄

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

### 本日の例会

2014年9月19日(金)第1630回

卓話「私とロータリー米山記念奨学会」

卓話者 米山奨学生 李 星 様

(世話クラブ: 松原ロータリークラブ)

紹介者 小西 幹夫 会員

今週の歌 「四つのテスト」

「堺北RCの歌」「学生時代」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

#### 今週の歌

「学生時代」

つたの絡まるチャペルで 祈りを捧げた日  
夢多かりしあの頃の 思い出をたどれば  
懐かしい友の顔が 一人一人うかぶ  
重いカバンを抱えて 通ったあの道  
秋の日の図書館の ノートとインクの匂い  
枯葉の散る窓辺 学生時代

2014年9月12日(金)第1629回

卓話「われらがマチのちんちん電車」

～その歴史と堺～

卓話者 堺市交通政策課 堺市史研究会

会員 井溪 明様

紹介者 堀畑 好秀 会員

今週の歌 「四つのテスト」「若者たち」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

○皆出席表彰(9月度)

坂田兼則会員(第8回)

<9月12日(金)の出席報告>

会員数 33名

出席会員 21名

欠席会員 12名

ビジター 0名

ゲスト 1名

8月1日(金)の出席率 84.84%

### 次回の例会

2014年9月27日(土)第1631回

例会変更 及び 夜間例会&グルメの会

於いて、大和屋(心齋橋大丸北館13階)

開会18時00分～



2014-15年度 国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

Light Up Rotary

国際ロータリー会長 ゲイリーC.K.ホアン(台湾・台北RC)

## 卓 話

### 「われらがマチのちんちん電車（その1）」 ～その歴史と堺～

堺市交通政策課 堺市史研究会  
会員 井溪 明 様



- ・現在の状況  
平成25(2013)8月 堺トラム第1編成「茶ちゃ」堺市内での運行開始  
平成26(2014)3月 堺トラム第2編成「紫おん」運転開始。
- ・電車が走るまで  
明治28(1895)10月 大阪馬車鉄道(阪堺電気軌道の源流の一つ)、住吉大社や天下茶屋遊園への旅客誘導を主目的に長者ヶ崎～南阪田～勝間村間で請願し、明治35年にかけて住吉まで開通
- ・電車開通  
明治44(1911)12月1日 阪堺電気軌道、恵美須町一市之町(現 大小路)間開通。  
明治45(1912)4月1日 阪堺電気軌道、少林寺橋～浜寺間、宿院～大浜水族館前間開通させ、阪堺電気道全線開通  
明治45(1912)8月26日 阪堺電気軌道、大浜水族館前～大浜海岸開通
- ・災害と復興  
昭和9(1934)9月21日 室戸台風により甚大な被害を受ける  
昭和20(1945)7月9日 堺大空襲により、阪堺線も電車焼失や路線破壊など壊滅的被害を受ける
- ・近代化への道  
昭和26(1951) 軌道線は都市交通の担い手として活況を呈し、この年には鉄道線の乗車人員の半分6200万人に達している(これがピーク)  
昭和31(1956)10月より、綾ノ町～少林寺橋間の道路中央への軌道移設工事開始、昭和35年3月完了する
- ・未来へ向けて  
現在、3編成目の「青らん」来春運行予定。それに伴いこれまで同様「堺市公共交通活性化促進基金」への寄付を市民各位各層へむけてお願いをしている。

## 会長の時間

「ちょっと風流に・・・」

会長 山ノ内修一



去る8月26日、那須会員の祥雲寺さんで清心寮の子どもたちの夏季研修会を行いました。その節は那須会員には大変お世話になり、ありがとうございました。

子供たちが勉強をしている間、那須さんといろいろ話をさせていただきましたが、その中で非常に印象深かったのが、「座禅の修行中、線香の灰の落ちる音が聞こえた」という話です。

線香の灰の落ちる音が聞こえるとは究極の静寂だなど思いました。そのとき反射的に思い浮かんだのが芭蕉の「古池や 蛙飛び込む 水の音」という俳句です。

で、今日はちょっと風流に・・・。

(話は飛びます。私の話はよく飛びます。・・・ゴルフボールは飛びませんが・・・)

若いころ、友達と一緒にいった飲み屋のカウンターの正面に「あなたは好きよ 貸すのは嫌よ 貸せばあなたが来なくなる」と書いてある短冊を見て「うまいな～」と心底感心したものです。「ツケお断り」を婉曲にしかもリズム良く言えているのが「粹」と思えたのです。

また別の飲み屋のトイレで「急ぐとも 外にもらすな 松茸の露」という張り紙を見たとき、これも「うまいな～」と感心しました。「一步前へ」とかも見ますが、直接的であまり感心しません。

上の二つはいずれも、五・七の言葉で作られています。五・七・五の俳句や川柳、五・七・五・七・七の短歌、五・七言葉の持つリズムの心地良さは日本語独特のもです。

たった十七文字または三十一文字の中に、人生の機微や哀歓が歌い込まれていて、すごいなと思うのです。

#### 俳句

「五月雨を 集めて早し 最上川」(芭蕉)

「やれ打つな はえが手をする 足をする」(小林一茶)

「子子(ボウフラ) や 蚊になるまでの 浮き沈み」(虚白)

「裏を見せ 表を見せて 散る紅葉」(良寛の辞世の句)

#### 短歌

「柔肌の 熱き血潮に 触れもみで 悲しからずや 道を説く君」(与謝野晶子)

「白玉の 齒に染みとおる 秋の夜の 酒は静かに 飲むべかりけり」(若山牧水)

「のど赤き 玄鳥二つ 屋梁にいて 足乳根の母は死にたもうなり」(斎藤茂吉)

「友がみな 我よりえらく 見ゆる日よ 花を買い来て 妻としたしむ」(石川啄木)

#### 川柳

「孝行の したい時分に 親はなし」(古川柳)

「すぐ覚める 夢を十枚 買いました」(修一)

秋の夜長、一句ひねってみるのもおもしろいでしょう。

### S A A 報 告

那須宗弘会員 連続して欠席してしまい、申し訳ありませんでした。

山ノ内修一会員 井溪さん、本日はよろしくお願ひします。

澤井久和会員 井溪様、卓話よろしくお願ひします。今日現在、出席率 140 パーセントです。いつまで続くか、心配です。

合 計 8, 0 0 0 円

### 委 員 会 報 告

「第2回落語愛好会 開催のご案内」

残暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になっております。

第2回落語愛好会を下記の通り開催させていただきますので、皆様奮ってご参加下さいませ。

記

日時：平成26年9月28日（日）13：30～

場所：奥野晴明堂ホール（堺区市之町東2丁山之口商店街内）

会費：1,000円

～ 出演者・演目 ～

- ・桂 三語 「狸さい」
- ・旭堂 みなみ 「長短槍試合」
- ・笑福亭 伯枝 「佐々木裁き」
- ・桂 あさ吉 「鯛」
- ・里見 まさと 「IPS細胞不死長寿」
- ・旭堂 南陵 「曾我の仇討」

幹事報告

(1) 配布物 ・週報 ・卓話資料

(2) 幹事報告

・例会終了後、臨時理事会を開催致しますので、理事・役員の方はお集まりくださいますようお願い申し上げます。

・9月26日(金)例会は例会変更27日(土)の為、例会はございませんのでお間違いないようお願い申し上げます。

(3) 他クラブ例会変更のお知らせ

・堺フラワーロータリークラブ

10月25日(土)→10月26日(日)「地区大会」

・堺泉ヶ丘ロータリークラブ

10月14日(火)→同日「職場見学会」

10月21日(火)→同日「秋の宴」

10月28日(火)→10月26日(日)「地区大会」

## ロータリーデーBBQ大会を開催【第 2790 地区学友会】

よねやまハイライト 174 号より

さわやかな晴天に恵まれた 9 月 6 日、千葉市内の大学を会場に、第 2790 地区（千葉県）米山学友会主催の「ロータリーデーBBQ2014」が開催されました。

このイベントは、奨学期間が終わると世話クラブとの交流が途絶えてしまう学友が多いため、お世話になったカウンセラーや世話クラブのロータリアンを誘って交流を図ろうとの趣旨で企画されました。同地区米山記念奨学委員会の協力のもと、今年度の黄其光国際ロータリー会長の提唱する「ロータリーデー」の一つとして広く参加を呼びかけたところ、奨学生・学友、ロータリアンがそれぞれ家族や友人を伴って、総勢約 80 人が参加しました。当日は澄み渡る青空の下、BBQを食べながら皆、和気あいあいと語り合い、余興の綱引きや玉入れにも全員が一丸となって挑戦して、笑顔と“良かった”の声があふれていました。

同学友会会長のラジブ・シュレスタさん（ネパール／2004-05／千葉幕張RC）は、「初めての試みで不安もありましたが、地区米山委員のご指導とご協力、そして学友会理事会の組織力で無事にやり遂げることができました。学友が久しぶりに再会した世話クラブの皆さんと家族のように触れ合う姿を見て、涙が出るほどうれしかった。目的を少しでも達成できて感無量です」と、喜びを語りました。また、同地区米山記念奨学委員会の石田善一委員長は、「参加者の皆さんが喜んでくださったのが何よりもうれしい。一般の方は、今回参加して、ロータリーが留学生を支援し、国際親善に尽力していることを初めて知ったという方も多く、ロータリーの広報にもつながったと思う」と、成果を語りました。

同学友会では、今後も取り組みを続けていくとのことです。

